



# さわらび

第 55・56号

発行元:十和田市立中央病院 地域医療連携室

発行責任者:室長 蘆野 吉和

十和田市西十二番町14番8号

TEL 0176-23-5869

FAX 0176-21-1234

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/>

## ◆ 感染管理認定看護師を紹介します ◆

看護管理室 主任 山下 浩司



はじめまして。

十和田市立中央病院看護管理室の山下浩司と申します。

このたび、第18回認定看護師審査において感染管理認定看護師の資格を取得いたしました。

認定看護師とは、日本看護協会が制定した資格で特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる者を言い、さらに、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する看護師を言います。

この資格は、1997年に「救急看護」「皮膚・排泄ケア」から認定看護師制度が開始され、今年では「脳卒中リハビリテーション看護」「がん放射線療法看護」が追加となり全部で19部門となりました。今年、新認定看護師7,363人が加わり、総認定看護師数は29,660人となりました。その中で感染管理認定看護師は4,455人で全国の医療施設において感染対策に力を注いでおります。

感染管理認定看護師はICN (Infection Control Nurse) と呼ばれ、院内の感染対策委員会に所属し、院内あるいは院外から入って来た感染症に対し常に眼を光らせております。さらに、感染管理医師、感染管理認定看護師、医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、栄養士、事務職員からなる感染制御チーム ICT (Infection Control Team) にも所属しながら定期的に院内をラウンドし、感染対策上の問題点の早期発見や修正、感染対策に関わる相談を行い、アウトブレイク発生時には感染対策の実践部隊として活動することになっております。また、医療従事者を対象とした感染対策勉強会などを開催し、感染対策の新しい情報の提供や、感染対策技術の指導を行っております。

私は、平成21年10月から半年間、神奈川県相模原市にある北里大学看護キャリア開発・研究センターにおいて感染管理認定看護師教育課程を受けてまいりました。600時間のカリキュラムの中で北里大学では感染管理の基礎を学び、感染管理実習では北里大学病院の感染管理認定看護師と共に実際に大学病院で行われている感染対策の実践を学んでまいりました。十和田市立中央病院とは施設の規模や患者やスタッフの人数の違いもあり、実際に自施設に戻り同じ感染対策ができるのか戸惑うことも多々ありましたが、人や細菌の違いは無く感染対策の基本は同じであるため実習期間で経験したことを自施設でも生かせるよう取り組んでまいりました。現在、専従認定看護師として院内全体を見ながら感染対策に力を入れておりますが、知識・技術ともまだまだ未熟者ですのでよろしくお願い致します。

# ◆ 救急看護認定看護師を紹介します ◆

外来看護師 仁和 喜美江



十和田市立中央病院、外来勤務の仁和喜美江と申します。

青森県立保健大学の認定看護師教育課程を修了し、第 18 回認定審査に合格して救急看護認定看護師となりました。

認定看護師とは、日本看護協会に「特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者」と規定されています。

具体的には、「実践」「指導」「相談」の 3 つの役割を果たすとあります。認定看護師を目指す条件としては、まず、実務経験 5 年以上（うち 3 年以上は認定看護分野の経験）が必要です。さらに認定看護師教育機関において教育課程（6 ヶ月・600 時間以上）を修了し、認定審査（筆記試験）に合格すると、認定看護師として登録されます。現在では《 19 》の認定看護分野があり、今年度から新たな教育課程として「慢性呼吸器疾患」「慢性心不全」が加わりました。多様化する患者のニーズに則した看護実践のために、今後も認定分野が増えていくことが予測されます。

私が救急認定看護師を目指したのは、看護師として患者の“命を救い、生を支える”ために、救急看護実践に専門的な知識と技術が必要不可欠なのではないかと考えたからです。

救急看護はすべての看護職が行わなければならない看護であり、急変時に何をすべきかを知り、必要な処置を迅速に実施できるようになることが大切なのではないかと実感したのがきっかけでした。

現在は、救急室を含む外来で勤務していますが、救急看護は時と人を選ばず発生し、多種多様な疾病、あらゆるライフステージの患者とその家族が対象となります。病態の緊急度、重症度が関連した時間制限の中、少ない情報から患者を観察、判断、予測し、全身状態の急激な変化に即応した診察の補助と看護援助、危機的状況下にある患者家族への精神ケアを行っています。患者に対して最善のケアが行えるように、救急室スタッフと共に日々看護に取り組んでいます。

認定看護師としてはまだまだ新人ですが、急変を早期に発見し、対処できる能力向上を目指し、自己研鑽はもちろんのこと、院内看護スタッフと共に救急看護のレベルアップに向けた活動を行っていきたくと考えています。看護スタッフだけではなく、院内外を問わず地域を見据えた救急看護領域の啓発、質の確保が図られることを目標にしていきます。

救急領域に関する疑問などお気軽に相談して頂きたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。



# 診療案内

## 外来診療担当医表

十和田市立中央病院 平成22年8月～

担当科	月	火	水	木	金
第一内科 (消化器)	佐藤守彦 診療部長(2)	佐藤守彦 診療部長(1)	佐藤守彦 診療部長(2)		佐藤守彦 診療部長
	高井哲史 診療部長(1)	高井哲史 診療部長(2)	高井哲史 診療部長(1)	高井哲史 診療部長	
糖尿病外来			片野春人 医師		
			杉本一博 医師		
	※第二・第四週のみ診療				
第二内科 (呼吸器)	工藤優 副院長				
第三内科 (循環器)	小山滋豊 診療部長	小山滋豊 診療部長	小山滋豊 診療部長	小山滋豊 診療部長	小山滋豊 診療部長
	田島拓郎 診療部長	田島拓郎 診療部長	田島拓郎 診療部長	田島拓郎 診療部長	田島拓郎 診療部長
				東北大応援医師	東北大応援医師
総合診療科 (内科部門)	宮川晃 診療部長	宮川晃 診療部長	宮川晃 診療部長	宮川晃 診療部長	宮川晃 診療部長
がん総合診療科	蘆野吉和 院長				
甲状腺外来			蘆野吉和 院長		
外科	小田 聡 科長	阿部永 科長	設楽英樹 科長	杉田純一 診療部長	4人の医師が交代で担当する。
乳腺外来	蘆野吉和 院長		外科医師	外科医師	外科医師
整形外科	田澤浩司 副院長	菊池明 科長	田澤浩司 副院長	菊池明 科長	田澤浩司 副院長
					弘大応援医師
脳神経 外科	赤坂健一 診療部長		休診	赤坂健一 診療部長	
		田畑英史 科長			田畑英史 科長
	善積威 診療部長	善積威 診療部長		善積威 診療部長	善積威 診療部長
		弘大応援医師		弘大応援医師	
神経内科					鈴木 真紗子 医師
小児科	小田誠 診療部長	小田誠 診療部長	小田誠 診療部長	小田誠 診療部長	小田誠 診療部長
	工藤雅庸 科長	工藤雅庸 科長	工藤雅庸 科長	工藤雅庸 科長	工藤雅庸 科長
婦人科	土岐利彦 診療部長				
泌尿器科	灘岡純一 科長	寺井康詞郎 科長	灘岡純一 科長	寺井康詞郎 科長	外来診療なし
眼科	関野尹夫 医師			関野尹夫 医師	関野尹夫 医師
耳鼻科	藤原文明 診療部長	藤原文明 診療部長	弘大応援医師	藤原文明 診療部長	藤原文明 診療部長
皮膚科	長谷川聡 科長				
精神神経科	谷地森康二 診療部長	谷地森康二 診療部長	谷地森康二 診療部長	谷地森康二 診療部長	谷地森康二 診療部長
	竹内淳子 診療部長	竹内淳子 診療部長	竹内淳子 診療部長	竹内淳子 診療部長	竹内淳子 診療部長
	河田 祐子 科長	河田 祐子 科長	河田 祐子 科長	河田 祐子 科長	河田 祐子 科長

※(1)は一診、(2)は二診

(資料提供：外来)

## 平成22年度患者数等の実績(4月～8月分)

入院患者数(一般)	1日平均 252.5人
外来患者数(一般)	1日平均 578.4人
平均在院日数(一般)	14.6日
病床利用率(一般)	77.7%

紹介率	62.3%
逆紹介	38.7%

(資料提供：医事課)

# お知らせ

## ◇ 精神神経科名称変更のお知らせ

当院の精神神経科の名称が変更となります。

精神神経科の「診療科名」については、精神病等の患者が受診するという従来からの固定したイメージを払拭し、清新なイメージでより広い医療ニーズに応えるため、下記のとおり変更することになりました。

なお、これに伴う診療内容や連絡先、患者様の対応等については変更はなく、従来どおりとなります。

診療科名： (旧)精神神経科 → (新)メンタルヘルス科

実施日： 平成22年11月15日(月)から

## ◇ 第1回 脳卒中救急医療セミナーのご案内

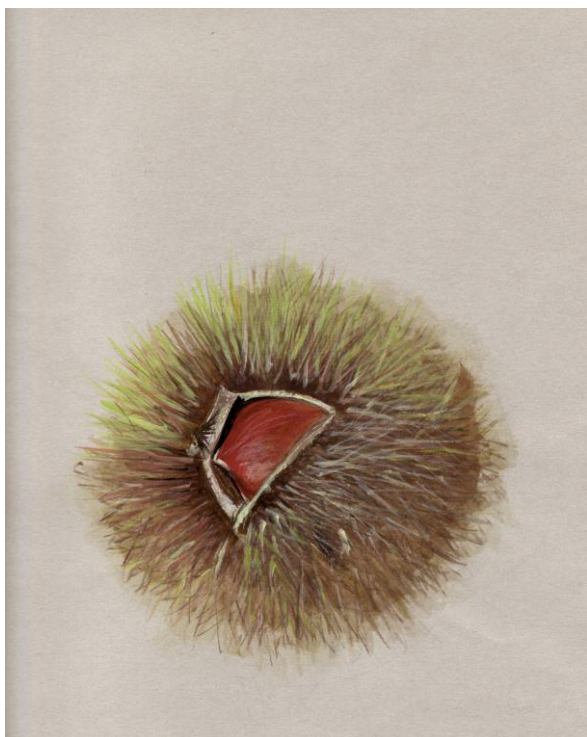
脳卒中を発症から救急で扱い、いかに速やかに診療を進めていくかについて、数回に分けて救急専門の講師が実践的な講演を行います。

■ 演題 『脳卒中 ～病院前救護から初期診療の実際～』

講師： 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター 伊藤 勝博 先生

- ・ 主催： 十和田市立中央病院
- ・ 日時： 平成22年11月4日(木) 開演18:30
- ・ 会場： 十和田市立中央病院 さわらび会館
- ・ 対象者： 医師・研修医・看護師・コメディカル・救急隊
- ・ 問い合わせ先： 十和田市立中央病院 業務課図書病歴室 TEL0176-23-5121(内線2342)

## 【 アートの紹介 】



「秋の空」 画 畑中 光昭

